



上田市議会議員 佐藤のりゆき

佐藤 論 征

後援会報 6月定例会報告

2017年6月定例会号
佐藤のりゆき後援会
発行責任者 森山 和
上田市真田町長 3576-1
TEL 0268-72-5666
FAX 0268-72-2622

上田市議会平成29年6月定例会 平成29年6月5日から6月26日 会期22日で開催され21議案を可決

市庁舎改修・改築事業 補正予算 3,900万円余

熊本地震では災害復旧の拠点として庁舎の重要性が改めて認識され、上田市においても、耐震性を備えた市役所庁舎の早期実現に向け、取り組んでいるところです。外部有識者と市民の皆様により構成される「上田市庁舎改修・改築検討委員会」において、検討を重ねていた「上田市庁舎改修・改築基本構想」については、本年3月に広く市民の皆さんから意見を募るパブリックコメントを実施するとともに、市内4か所において市民説明会を開催し、広く市民の皆様からの意見反映にも努め、4月に策定しました。現在、新本庁舎の規模、機能等

の具体的な検討を進めており、この秋には基本計画を策定し、引き続き基本設計に着手。今定例会において本庁舎及び南庁舎の改修・改築に係る基本設計業務委託費などの経費を計上。

「上田市庁舎改修・改築基本構想」においては、具体的に3つのパターンの庁舎建築案を作成し、配置によるコストの比較、耐震工法によるコストの比較、駐車場スペースの比較など様々な観点で検討を行っています。

市庁舎改修・改築に関する市議会の動き
上田市議会では視聴者改修・改築研究委員会を設置しました。議会として調査研究し、議場など直接関係するものの協議など、今後の庁舎改修・改築に向け動きを強めてまいります。



菅平高原キャンプ地誘致委員会負担金 補正予算 2,000万円

2019年ラグビーワールドカップ参加国の事前チームキャンプ地を菅平高原に誘致するための費用の計上。2019年ラグビーワールドカップの「公認チームキャンプ地」の誘致実現については、現在、キャンプ地の認定要件とされている菅平地区振興施設が来年秋の共用開始に向け建設中です。本年4月には、国の組織委員会による実地審査が行われ、この夏以降にキャンプ候補地が選定される予定です。スポーツ合宿の聖地である菅平高原を「世界の菅平」へ飛躍させる大きなチャンスと捉える中、「公認チームキャンプ地」の誘致に加え、大会期間前に滞在する「事前チームキャンプ地」については、相手国に対して直接の交渉を行うことができることから、この誘致に対しても県や菅平高原観光協会をはじめとする関係団体との協働による実現を目指すこととし、まずは、長野県スポーツコミッションと協議する中でイタリア共和国ラグビー連盟に対して接触を図っているところです。キャンプ地誘致の実現は、経済波及効果や国際交流、国際理解などにつながる絶好の機会であり、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、翌年のワールドマスターズゲームズ関西と続くビッグスポーツ大会への関与などへもつながるものです。



菅平地区振興施設 完成予想図

平和祈念事業 補正予算 100万円

唯一の被爆国として核兵器の廃絶を訴え、国や宗教の枠を超えた世界規模での恒久平和の実現に向けて多大な御貢献をされた、上田市名誉市民 故半田孝淳氏の市葬から1年が経過し、氏の世界平和の遺志を受け、再び戦争の惨禍が繰り返されないよう、市民や関係団体の皆様とともに実行委員会を組織し、来年1月、サントミュージアにおいて平和祈念事業を開催し、一層の平和意識の高揚を図る。実行委員会が組織された後に具体的な内容を検討。事業全体の事業費として予算を計上。

新工業団地計画 上田市議会全員協議会において発表

上田市はこれまで企業誘致を積極的に行ってきましたが、昨今の景気回復傾向の影響もあり、工場用地取得の要望が急激に増えている状況にあります。上田市はこの要望に対し空き工場や市所有の土地などを紹介してきましたが、企業の求める用地規模がより大規模なもので、企業の要望に応えられない状況にあります。そこで、企業誘致の第一段階として、丸子地域において新たな工業団地を造成することを計画いたしました。企業誘致が進むと上田市での雇用の増、税収入の増、雇用が増えることによりUターンなど移住者の増大が見込まれ、今後、需要を的確にとらえたいと、更に取り組みを強めていかなければなりません。※造成計画の概要については裏面に掲載

新工業団地計画

箱畳第二期工業団地造成計画の概要

場所：箱畳工業団地隣接地
(上田市大字中丸子)
賃貸していた市有地(牧草地)の契約が平成 29 年 3 月末で満了し、再契約の意向がないため当該市有地を工業団地として有効活用することとした。当該市有地を中心とし周辺は市有林であり、市有林も活用が可能なことから今回この場所を選定した。
面積：約4ヘクタール
(平地面積約2.7ヘクタール)
スケジュール(予定)
平成 29 年度中に所要の予算措置し、平成 30 年度中に造成工事着手。



一般質問 人口減少社会における上田市のインフラについての質問

上田市は、市民サービスの向上と事業経営の効率化を図ることを目的とし、平成 27 年 10 月1日に上下水道料金等に関する業務を民間業者であるヴェオリア・ジェネッツ株式会社に委託し、上田市上下水道局料金センターを開設しました。これは、行財政改革として高く評価すべきもので、人口減少社会においては非常に有効な手段であり、将来を見据えた改革であります。また、多くの市民の皆様から、電話対応、窓口対応も非常に良いとの声を度々お聞きします。民間委託してから 1 年 8 か月が経過し、その効果の検証について質問。

問 市民サービスの向上、コスト削減、上下水道料金の収納率などについてどのような効果がもたらされているのか。

答 年間 1 万 1 千件を超える開閉栓手続きが民間委託を契機に窓口に出向かなくても可能となった(電話、ファクス、インターネットによる手続きを可能となった)。料金徴収業務に係る営業費と職員人件費の合計を委託前の平成 26 年度と業務委託を行った平成 28 年度で比較すると年間 2 千万円余の削減。収納率については平成 26 年度の 99.02%から平成 28 年度 4 月末で 99.16%に向上。また、受託業者は災害時等、全社体制で応援体制が構築されているうえ、給水車を所有しておりバックアップ体制が強化された。

真田地域簡易水道統合事業 つちや水源の利用

給水時期 宮浦・大日向地区 平成 30 年 3 月給水開始
そのほかの地域は一年先送りし平成 32 年度給水開始

上田市の上水道事業のなかで、つちや水源を利用し上水道事業に大幅なコスト削減効果をもたらす真田地域簡易水道統合事業は人口減少社会に向け大きな役割を果たすものです。給水開始予定を宮浦・大日向地区は今年度中に給水開始予定としており、その他の下流域については平成 31 年度と当初計画してありましたが、この進捗状況について質問。

問 真田地域簡易水道統合事業について、給水開始時期は当初計画通りの給水となるのか。

答 水源周辺の宮浦・大日向地区については、計画通り今年度末平成 30 年 3 月を予定。その他の給水予定地区については、国の補助金が要望額に対し平成 27 年度が 71%、平成 28 年度が 51%であったことから、当初計画より 1 年先送りし、平成 32 年度を目標に事業を進めている。

佐藤のりゆき 出来事

高校 3 年生になる長男は高校球児です。なかなか応援に行けませんが、久しぶりに応援に行ってきました。夏の大会の抽選も終わり、いよいよ高校最後の大会がはじまります。高校最後のプレーをできる限り見てあげたいと思います。

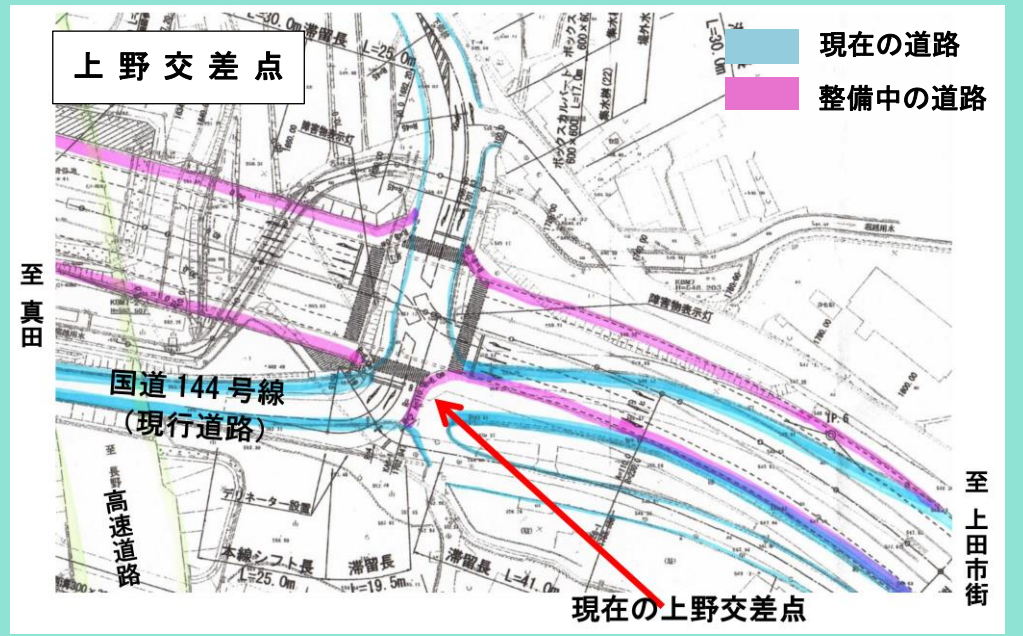
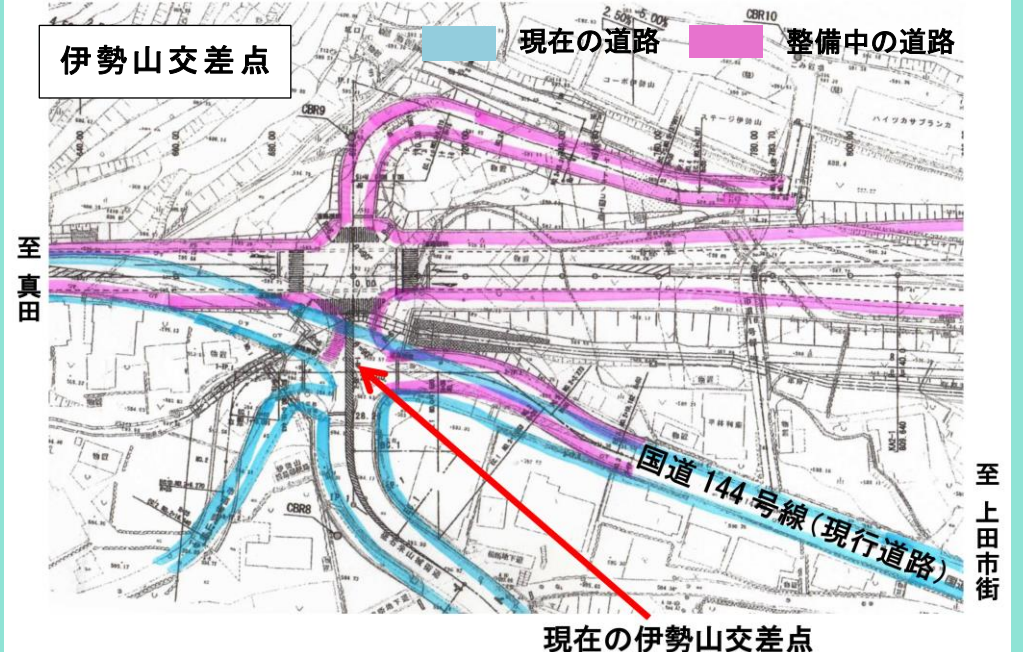


頂点に立つ学校は 1 校ですが、全ての高校球児がこれまでの練習の成果を全て出し切り、大好きな野球を最後まで精一杯プレーしてもらいたい。

国道 144 号線上野バイパス

国道 144 号線の神科小学校上の上野交差点から伊勢山交差点までのバイパス工事が進んでおります。工事が進んでいる状況を多くの市民の皆様が目に見られ、このところ私へも問い合わせが多く寄せられております。この区間は、道路が狭いうえ、歩道も狭く凹凸があり、小学生、中学生、高校生の登下校時の危険性、自転車の危険性が非常に高い状況にあり、私も環境建設委員長として、国、県などへの要望に際しては、早急な完成を要望している区間です。上田市の直接所管する道路ではありませんが、整備状況について掲載させていただきます。平成 26 年度に要望した際は、あと 3 年程で完成できるよう事業を進めたいとの建設事務所の見解を聞いておりましたが、この道路に対する国の予算がなかなか思うように付かず、もうしばらく完成までにはかかってしまう状況です。完成時期については、予算の付き方次第ですのでもいつまでに完成するとは申し上げられませんが、今後も関係機関へ強く要望してまいります。

現在、上田インターチェンジ方面から上野交差点まで整備されている片側 2 車線の道路を上野交差点から伊勢山交差点まで更に片側 2 車線のバイパスを整備。住宅地をできる限り避ける形で富士見台斜面下を通ります。



直近 3 年間にこの路線についての予算	平成 27 年度 2 億 5 千万円
	平成 28 年度 2 億 5 千万円
	平成 29 年度 1 億 8 千万円

この路線の真田側の工事について

現在行われている工事については、伊勢山郵便局前の伊勢山交差点までの工事となります。その先の真田側については具体的な計画は現在のところありません。この先、群馬(嬬恋村)方面へのアクセスも重要な路線となります。嬬恋村とも個人的に情報交換を行いながら、一体した整備について現在、要望、取り組みを強めております。